

左から4人目が井上百合子(伊藤千代子役)、5人目が桂壮三郎監督、6人目が竹下景子(安井てつ役)の各氏=写真「映画 コム」提供

映画「わが青春つきるとも——伊藤千代子の生涯」の製作発表記者会見II 22年1月18日



映画 わが青春つきるとも ——伊藤千代子の生涯

みんなの力で上映成功を

治安維持法下の暗黒の時代に、社会に働きかけ、社会を変えようと歩みはじめた女性がいました。1928年2月29日、日本共産党に入党した伊藤千代子は、数少ない女性党员として活動を開始してわずか15日、3月15日の朝検挙され、拷問を受ける。1年半の獄中生活に加えて、夫の裏切りなどにより拘禁精神病を発症、その後無念の死を遂げます。その千代子が、現代に生きる私たちに呼びかけるメッセージ……それが映画「わが青春つきるとも——伊藤千代子の生涯」です。

どんな弾圧を受け、失意の中であろうと「民衆の幸福のために」と強く意志を貫いた千代子の生きざまを、私も活動を通してしっかりと学んでいきたいと想います。

(2面に続く)

製作・上映を成功させる会奈良県実行委員会
事務局長 伊藤恵美子



奈良県版

No. 349

2022年2月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
奈良県本部
〒631-0033
奈良市あやめ池南1-9-27
加藤宜之気付
☎ 0742-43-0762
振替 0990-2-209460
治安維持法国賠同盟
奈良県本部

われわれの 運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は、治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認めること
- 三、国は、治安維持法犠牲者に賠償を行うこと

(一面から続く)

さて、私たち国賠同盟奈良県本部は、他団体や有志の方々にも呼びかけ、昨年8月7日に、原作者の藤田廣登さんを招き、実行委員会を開きました。9月20日には、製作・上映を成功させる会、奈良県実行委員会の発足の集いを開くことができました。元前進座の俳優、嵐圭史さんが、「治安維持法時代と劇団前進座の誕生」と題し、記念講演をしてくださり、感動的な集会となりました。「参加はできないが」と激励の言葉を添え、募金を送って下さる方もいて運動の広がりを感じています。上映の費用の確保をはじめ、時期や場所、宣伝など、課題は山積みです。宮城恭子会長を中心に実行委員が先頭に立ってがんばりたいと想いますが、ぜひ国賠同盟のみなさんのお力添えを心からお願い致します。

次回実行委員会
2月24日(木)午後6時
場所：生涯学習センター

1931年1月、松岡洋右代議士が衆議院で「満蒙は日本の生命線」と叫び、日本軍部が本格的に中国侵略を開始した歴史を想起させます。

1927年には、日本帝国主義政府の山東出兵に対して、全国的に「対支非干渉運動」が展開されました。奈良県でも「対支非干渉同盟奈良地方同盟」を結成して運動が繰り広げられました。「この運動を展開したのは全国でわずか数府県であることを考えると、本県での運動の高揚が推察される」(『奈良県警察史』昭和編53ページ)と言われるほどでした。

参議院選挙は市民と野党の共闘で中国への侵略戦争に反対し、国民主権を主張して全国の最前線で闘った先達の遺志を継ぎ、今こそ憲法9条を守る不屈の闘いを全国と全県の闘いに呼応して全力で進めましょ。

第34回県本部総会を5月に再延期します

1月14日開いた1月度理事会で、冒頭、田辺会長から、1月度県本部理事会への「報告と提案」、加藤事務局長・会計担当から会計報告と次期役員選考委員会(責任者：加藤事務局長)の報告を受け討論を行いました。

この日の理事会では、コロナ禍の第6波に直面しており、不安のなかで総会を行うことは適切でないことを確認し、1月29日の第34回総会を再々延期し、コロナの状況を見て条件が整えば5月に開催することを決定しました。

総会の再延期にともない、1月度の理事会では、①次期総会までの当面の方針、②第33回県本部総会以後の2年8ヶ月間の取組について、③県本部理事会の機能の維持・強化のための取組、④県本部事務所の移転などについて検討し、決定を行いました。

また、映画「わが青春つきるとも 伊藤千代子の生涯」の上映運動を奈良県でも積極的に推進することを確認しました。

昨年5月以後この8ヶ月間の取組のまとめ

県同盟は、昨年5月16日の県本部理事会が採択した「第34回奈良県本部総会決議案」にもとづいて、この8ヶ月間取り組んできました。

この8ヶ月間には、「わが青春つきるとも 伊藤千代子の生涯」の製作・上映運動実行委員会を結成、10月の総選挙の取組、11月16日～17日の「2021年近畿ブロック会議」の開催、12月4日には講演会「不屈の家族 林家の人々」など重要な取り組みをおこなってきました。

また、奈良・長谷川テル顕彰の会が主催して、11月28日～29日に「王希奇」一九四六「高知展」鑑賞、バスツアーを実施しました。これらは、国賠同盟の独自の活動と合

5月に延期した県本部総会までの方針の基本

憲法9条を守り抜く運動の推進を！
1月の理事会で県本部総会を延期すると同時に、当面の方針について次のように決定しました。

昨年秋の総選挙で、奈良県でも全国的にも、市民連合と野党の一致した取り組みで重要な成果を収めました。岸田政権は、野党と市民の共同の発展を恐れ、野党の共同にくさびを打ち込もうと必死の攻撃をしかけてきています。

また、「米中対立激化」のなか、「台湾有事」をことさらあおり、岸田政権は憲法「改正」を叫び、敵基地攻撃能力の検討を表明するなど許しがたい状況が続いています。

署名数・会員数の到達

(二月一日現在)
団体署名 二四(前月比増減なし)
個人署名 六七三(前月比プラス二〇)
会員数 四一一名(前月比増減なし)
旧奈良監獄署名 二五一
(前月比五七増)

わせ、諸団体との共同の取り組みとして重要な意義をもつものです。

このような重要な成果にも関わらず、会員の現勢を徐々に減らし続けてきました。次期役員体制の確立に力を注ぎ、会員拡大の取り組みが後回しになってきたことが、後退の主な理由です。

『奈良刑務所物語 治安維持法で囚われた人々』の刊行も含め、歪められた歴史認識をただす闘いを土台にして、再び戦争と暗黒政治を許さないスローガンを掲げ活動をつづける国賠同盟の役割に大きな注目を寄せられている状況のもとで、今総会を契

機に新役員体制のもと500名の県同盟確立をめざし、新たな前進を期そうではありませんが。

第33回県本部総会後の2年8か月間の取組みについて

第34回県本部総会の再延期にもなつて、検討すべきことが少なくありません。その一つは、第33回県本部総会は2019年8月25日に開催され、現役員(県本部理事会)を選出し、2年8か月間の県同盟の活動を推進してきたことを現時点で総括することです。

第34回県本部総会は、コロナ禍が蔓延するなかで、2020年、2021年には開催できませんでした。2020年5月1日付で、県本部理事会が第34回総会の開催の延期を決定し、6月7日の県本部理事会で、「第34回総会決議案」(要旨「不屈」2020年5月号に掲載)を当面の方針とすることを確認し、

田辺実宅から加藤宜之宅に変更することを決定しました。

これまで、県本部事務所は田辺会長の私宅で、公の事務所ではないため、県本部の活動に様々な制約がありました。当面は、加藤事務局長宅を事務所としますが、今後は県本部の公の場所に開設することをめざすことを確認しました。

事務所移転先

〒631-0033 奈良市あやめ池1-9-27
加藤 宜之方
治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟
奈良県本部

電話 (F) 0742-43-0762
携帯 090-4765-3801
Email mb58ac25ml@kcn.jp

2019年8月の第33回総会で選出された県本部役員の体制を基本的に維持して県本部の活動の推進にあたることを確認しました。

昨年(2021年)は、5月16日に第34回総会を開催すべく準備をすすめてきましたが、コロナ禍がおさまらない状況の下、やむを得ず再度延期し、5月16日開催した県本部理事会で、「第34回総会決議案」(要旨「不屈」2021年5月号に掲載)を採択し、県本部の役員体制を維持して活動の推進にあたってきました。

県本部役員体制の維持・強化を

2019年5月以降2年8ヶ月、県本部役員は一度も改選されなのまま今日にいたっています。この間、県本部顧問の西野さん、岩田さんが逝去され、昨年12月29日には山内進吾県本部常任理事が逝去されました。県本部総会が開けなかつた間に県本部役員体制が弱体化しています。

調査部 リレー投稿⑥-4

田辺 実

「奈良刑務所物語 — 治安維持法で囚われた人々」の刊行に携わって—

2021年12月

Ⅲ さらに充実した『物語』にするための今後の課題

- 1, さらに資料の検索、発掘、収集。特に公判記録の発掘確保。
- 2, 全国的な協力の要請。

この2年8ヶ月の間2019年8月の第33回県本部総会で選出された理事の体制で活動してきたことを、やむを得ない措置であったことを県本部理事会で確認し、次期総会に報告して承認していただくことを確認しました。

なお、1月29日をめざし現県本部理事会が推薦する新役員名簿の作成する努力を行ってきましたが、14日の県本部理事会までには名簿作成には至りませんでした。そこで、2月の県本部理事会で、新役員体制を正規の総会が開かれるまでの暫定的な体制を確立することをめざすこと、この暫定的な体制については、次期総会で承認を求めることなどを確認しました。

県本部事務所を加藤宜之宅に

次期県本部総会の再延期に伴う措置1月14日開いた1月度の県本部理事会で、県本部の事務所を、2月1日をもって

- 3, 個々の犠牲者の事績の研究とあわせ集団としての研究。
- 4, 当時の弾圧法規の関連で研究する。
- 5, 広く感想意見を寄せていただき、将来、さらに充実したものに発展させる。

Ⅳ 旧奈良監獄の保存・活用をめぐって

「平和と国民主権を主張し囚われの身となった人々の事績を収集・所蔵・研究し常設展示することを要望します」(2018年3月19日 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部 会長 田辺 実)と題する要望書をまとめ、法務省矯正局と交渉しました。(『物語』170ページ〜173ページ)。

要求事項

2016年に法務省が打ち出した「旧奈良監獄保存・活用事業」についての構想では、業務内容として①耐震改修など「改修業務」②「史料整理、展示、案内など史料館の運営」③付帯事業として、「文

化財の保存に支障がない範囲で、史料展示業務として直接利用しない部分(土地を含む)を活用した付帯事業の提案が可能」となっています。私たちは、②と③の内容に注目しました。「旧奈良監獄保存・活用」にあたって、同所を「史料館」として保存・活用する方針を歓迎いたします。

「史料館」としての展示内容を充実したものにするためには、建造物としての文化財的価値とあわせ、かつて平和と民主権を主張し囚われの身となった人々の業績に歴史の光をあて、その内容を史料館として収集・所蔵・研究され展示し、訪れる人々に広く知っていただく努力を進めることを期待いたします。そのためには、常設展示が必要だと考えます。

当初、法務省からソーラーレグループなどが出資する特定目的会社(SPC)に運営権が売却されました。しかし、耐震工事費

がかさむという理由でソーラーレグループが撤退し、2019年に星野リゾートが引き継がれました。2019年1月に、新たにホテル運営を公募し、星野リゾートと協定を結びました。「2024年開業予定」と報道されています。

寮氏は、「高級ホテル化の決定を、ぜひ覆して欲しい。全館がなるべく現状のまま残り、明治の近代化や昭和の治安維持法時代の弾圧、戦後の少年教育の歴史を語る資料館にしてほしい」(『物語』5ページ)と述べています。

市民団体の「資料館」構想は、耐震工事に「多額の予算が必要だから無理」との意見もありますが、いつまでも、自公政権が続くものではありません。いま、直ちに市民団体の要求実現が困難であっても、正当な要求をまとめ、国民運動に発展させる取り組みで展望を切り開くことが重要と考えます。(完)

県同盟の活動を多くの人に広げ継いで

県同盟常任理事 山内進吾さんを偲ぶ



同盟県本部常任理事の山内進吾さんは、昨年12月29日、85歳で逝去され、1月2日近親者で告別式が行われました。会葬した田辺実県本部長は、弔辞を述べ、また、白川嘉秀県本部常任理事のお悔やみの言葉を代読しました。要旨を紹介します。

また、県本部が作成した様々な冊子等は必ず、山内さんが編集・レイアウトの作業をしていただきました。

8枚のパネル『奈良県にも侵略戦争反対で闘った人々がいた!』(2015年8月)と、同パネルを5版に縮小したパンフレット『奈良県の治安維持法犠牲者名簿』(第一次刊行2016年版)

講演録『日清戦争120年と現代—ゆがんだ歴史認識をただすために—』(講師:中塚明 奈良女子大学名誉教授)

東日本大震災・福島原発事故から11年

3.5原発ゼロ

・被災者支援

奈良のつどい

3月5日(土)12:30~14:45

JR奈良駅前広場

川柳

奈良の愚僧

事さらに台湾有事騒ぎ立て
オミクロン米軍基地からじゃじゃ漏れ
大和郡山支部 杉本英雄
組合の信念閉ざす連合会長
何を今!改憲ねらうきもい影
節分の鬼も退散オミクロン

『奈良刑務所物語』(2014年初版)及び2016増補改訂版

新版『奈良刑務所物語 治安維持法で囚われた人々』(2020年)などです。

この数年間の国賠同盟奈良県本部の刊行物のすべては山内さんの関与なくしては実現しなかったものばかりです。これらの貢献については、山内さん自身の口からは一切、「自分が作成した」とは口外しませんでした。

山内進吾さん
長い間本当にご苦労さまでした。安らかに
お休みください。

2022年1月2日
治安維持法犠牲者国賠同盟奈良県本部
会長 田辺 実

『奈良刑務所物語』山内さんの
大変な作業で実現

山内さん 有難うございました
京都部落問題研究所へご高齢にもかかわらず山内さんが車を出され4人で通いましたね。

弔辞(要旨)

国賠同盟奈良県本部が、この間、発行し続けている「不屈」奈良県版は極最近まで必ず丁寧に校正をしていただきました。また、国賠同盟の県本部総会、講演会、各種集会と街頭宣伝などの取り組みの際には、必ず写真をとっていただき「不屈」等に提供していただきました。

資料を写真に取り込む作業もされました。中之島図書館での思想月報の閲覧、奈良県立図書館での打ち合わせでの、文集を作るに際しての割り付けの専門的なお話し、そして奈良県の治安維持法犠牲者名簿の発行、また奈良刑務所物語初版及び改訂版の発行と山内さんの大変な作業で実現しました。

私事ですが、地域でパソ新聞と称して原稿を寄せていただき毎月メールで新聞を十年以上発行しておりますが、毎月素晴らしい写真を寄せていただき紙面を飾っていただきました。

弱られた足を何とかだましだまし現地に行かれ季節の記録を収められました。山内さんのカメラには素晴らしい写真が沢山残されて居られると思います。作品をもつとご紹介できればと思います。ご冥福をお祈りいたします。

国賠調査部 白川嘉秀

編集後記

新年早々からオミクロン株の猛威にさらされ、陰鬱な日々となっています。立春とはいえ、寒さが続きます。いかがおすごでしょうか？

岸田内閣による憲法改憲の策動を阻止するための「憲法改悪を許さない全国署名」に呼応する運動が始められました。

一昨年より、全国の力を合わせ「わが青春つきるとも 伊藤千代子の生涯」が完成、3・15を全国一斉に上映運動が展開されます。奈良県でも昨年9月製作・上映実行委員会(会長宮城恭子氏)が発足、取り組みをすすめてきました。2月24日には、実行委員会を行い上映の日程の確認などを相談します。奈良県でも多くの人々にこの映画を鑑賞してもらうために力を尽くしましょう。

コロナ禍のため、県本部総会が再延期されたこともあり、県本部の体制が弱体化しています。憲法改憲阻止など民主勢力の共同の取り組みや国会請願署名など国賠同盟独自の課題を、途切れることなく推進する体制を維持・強化するための取り組みが進められています。

県本部の事務所の移転などさまざまな措置が取られますが、引き続き国賠同盟の活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部常任理事会